

紫色の果実をつける、紫式部。

< 植物名 >

ムラサキシキブ

コムラサキ、紫式部

総称

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。

置き場所

半日陰に置く

用土肥料

保水力のある肥えた用土で育てる。

植え替え

毎春、植え替えをする。

ふやし方

挿し木、タネまき

冬越し

特記事項なし。

使い方 庭植え、鉢植え、切花

学名 Callicarpa

英名

属名 ムラサキシキブ

科名 シソ

性状(分類) 低木

原産地 日本、中国、朝鮮

花の色 紫 白

開花期 6～8月

購入時期

草丈 60～120cm

ID 407

季節 夏

JFコード 19470



冬越しと置き場所

半日陰で、保水力のある肥えた用土で育てる。腐葉土などで根元を覆い、土が乾燥し過ぎないようにする。

その他の解説

特徴1

球形できれいな紫色をした果実をつけることから、ムラサキシキブと呼ばれる。土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。乾燥しすぎないように注意する。

特徴2

山野に生えるものは高さ2～3mにもなる。栽培されているのは約2～3種で、ムラサキシキブ(C.ヤボニカ)、コムラサキ(C.ディコトマ)が主流。紫式部という名は直径3～4mmの球形できれいな紫色をした果実をつけることからつけられた。ムラサキシキブの幹は真っ直ぐで丈夫なため、昔から道具の柄や杖などに使われてきた。